

身近にあった「ファッション」

— ミウラさんがイラストレーターになりたいと思ったのはいつ頃ですか？

実は、幼い頃から絵の仕事をしたいと思っていたわけではなく、イラストレーターになりたいと思ったのは、20代になってからです。

母が洋裁教室を開いていたので、幼い頃は周りにあった布やスタイルブック（洋裁の本）、美術画集などを見るのが好きでした。特に「色」に興味がありました。そうしてファッションへの関心が強くなって、高校生の頃には「東京に行って、ファッションの勉強をしたい！」と思うようになりました。高校卒業後に上京し、文化服装学院（ファッション専門学校）に進みました。

— ファッション専門学校での勉強はいかがでしたか？

とても刺激があり、たくさんの方ともできて楽しかったです。ただ、途中から洋服を作ること、デザインすること、流行を追いかけることに楽しさを感じられなくなり、ファッションを職業にしたいとは思えなくなっていました。専門学校を卒業後、自分のやりたいことがわからなくなっていた時、両親の勧めもあり、1年間ニューヨークに留学することにしたんです。

心がフッと軽くなる、
そんな作品を創り続けたい。

MUURA
ミウラ

NAOKO
ナオコさん
イラストレーター

profile

ミウラ ナオコ

日立市出身。
1984年 文化服装学院卒。
広告や絵本、教科書など幅広い分野でデザイン・イラスト制作を手掛ける。
2014年 「いばラッキー」が茨城国体キャラクター公募展で2830点の中から最優秀作品に選ばれる。
2022年8月 日立シビックセンターギャラリーで、田中靖夫&ミウラナオコ二人展「日立生まれだなあ。おじ×めい」を開催。
2022年9月 ふるさと日立大使に就任。



転機となったニューヨーク生活

— ニューヨークではどんな活動をされたのですか？

美術館に行つてポストカードを集めたり、セントラルパークなどで、よく人間観察をしていました。ニューヨークは個性的な人がいっぱいでしたから(笑)。そのうちスケッチブックに似顔絵を描いて周りの人に見せるようになったんです。絵を見せると一瞬で反応が返ってくるので、私にとって絵が大切なコミュニケーションツールとなりました。イラストの面白さに目覚め、ニューヨーク生活が半年を過ぎた頃には、「イラストレーターになるう！」と心に決めていました。

— イラストレーターになるために、どのような活動をされたのですか？

イラストの勉強を全くしたことがなかったのですが、叔父(イラストレーターの田中靖夫氏)にニューヨークで描いた絵を見せて相談したりしました。その後、イラスト事務所で働きながらイラストや画材のことなどを勉強していたんですが、ある時、知人の勧めでイラストの公募展に応募したら、そこで2回続けて入選したんです。それがきっかけとなって、イラストレーターとして仕事の依頼が来るようになりました。これまでに、広

告、絵本、教科書、幼稚園バスのラッピングなど、さまざまな分野のイラスト・デザイン制作に携わりました。

— 茨城国体のマスコットキャラクター「いばラッキー」は、どのようにして誕生したのですか？

友人から、「茨城国体のキャラクターデザイン募集があるけど、応募してみたら？」と強く勧められたんです。ちょうど何かふるさとのために役に立つことができたらと考えていたので、トライしてみよう! と思いました。そう決めて描き上げるまでは、4〜5日程でした。他の作品もそうですが、いばラッキーも私にとって「子ども」のようなものです。本当



茨城国体の“顔”となった
いばラッキー

— 日立市で好きな場所は？

「海」と「山」が身近にあることです。子どもの頃は当たり前すぎて気が付きませんでしたね。日立を離れてみて、とても恵まれていることがわかりました。海と山の両方を味わえるなんて、すごく幸せなことだと思います。

新鮮な気持ちで日立の魅力を発信

— ふるさと日立大使として、今後どのような活動をしていきたいですか？

この春、活動拠点を東京から日立市に移しました。新鮮な気持ちで、これまで気付かなかった日立市のいい所をたくさん見つけて、SNSなどで発信していきたいです。また、心がフツと軽くなる作品、ワクワクするような作品も創っていきたいです。市民の皆さんと一緒に表現活動をする機会も楽しみにしています。

— 最後に、日立の子どもたちへメッセージをお願いします。

自分の個性を大切に、そして磨いていってほしいですね。またやりたいことが見つからなくても心配しないで、自分の中から湧き上がる「好き」を大事にしてほしいです。その「好き」を楽しんで栄養をあげて育てていけば、きっと自分だけの花が咲くと思います。おもしろい花(個性)が日立にいっぱい咲いたら楽しいですね。

*ミウラさんインタビューの
全文は市HPで配信中!



ワークショップの講師として活躍
1 市役所旧庁舎お絵描きイベント
2 3 なかこうじ児童公園のトイレを「いばラッキー」にペイント

“心がフツと軽くなる”ミウラさんの作品たち
4 つながるつながる
5 赤い花を君に